

### 新商品のご案内 「歯みがき SANGOKUN」

「小さいころからは歯磨きが嫌いで、いつも虫歯と戦っていた自分ですが、30歳を過ぎてから、歯の大切さを実感しましたが、時既に遅しで治療だけになってしまいました。歯磨き粉をいろいろ使ってきましたが、歯みがきをしてこんなに歯がツルツルしたことは未だかつてありませんでした。今、1ヶ月使用しましたが、ツルツル感は時間が経っても消えません。とても不思議です。白さも良くなっている感じがします。」(体験者、鈴木のコメント)

SANGOKUN 歯磨きは世界で初めて与那国島の化石サンゴを原料とした天然のアパタイトです。

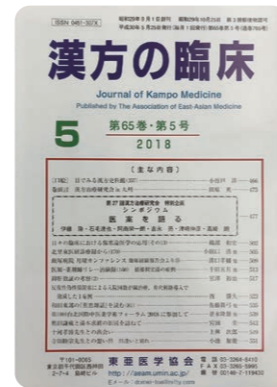
強力なイオン交換作用により着色汚れや歯垢等の細菌を吸着する一方、太古の海水に溶解していたカルシウム、マグネシウム等々のミネラルが、歯垢内細菌が作る酸や飲食物などの酸により溶出したミネラルを補い、再石灰化を行います。また、タマネギの外皮に含まれるポリフェノールの一種ケルセチン組成物は抗菌・抗酸化・抗アレルギーなど様々な生理活性が研究され、ミュータンス菌(虫歯菌)に対する抗菌活性や日常生活において発生する悪臭や身体のニオイを抑える働きがあります。1本で6役=歯を白く、歯垢除去、ヤニ取り、虫歯予防、口臭予防、歯石予防の働きがあります。

(日本製、120g 3,780円)



### INFORMATION

漢方医学専門誌「漢方の臨床9月号」  
漢方医学の専門誌「漢方の臨床9月号」に、論説を掲載いたしました。題は「畑の中の傷寒論・少陽病」です。30部ほど別印刷を致しますので、ご興味がある方は、お申し出下さい。



「当帰(とうき)」の種を差し上げます  
今年収穫した、婦人薬の代表薬草「当帰(とうき)」の種を差し上げます。ご希望の方はスタッフまでお申し出下さい。当帰は日陰やプランターでも育ちます。葉は食用になり、根は入浴剤として用いられ体をよく温めます。種まきは、3月のお彼岸あたりです。



# MUTSUGORO & MUTSUMI PHARMACY NEWSPAPER

no.187

むつごろう&むつみ薬局新聞



薬学部漢方医学講義の様子

表は皮膚や筋肉、粘膜などの体の表面を言い、裏とは胃腸のことを言っています。そして、病気は原則的に表から始まり、徐々に裏に移っていきます。

少しだけ専門的なお話をさせていただきます。風邪の菌に感染した時の事をイメージして下さい。まず喉が痛くなる場合が多いですが、菌が喉の粘膜に付着したからです(第1ステージ)。その後、薬と免疫で菌を退治できない場合、菌は粘膜から血管の中に侵入して行きます。血液が沢山たまる肝臓付近に戦場が移ります(第2ステージ)。この場所が、表と裏の中間で「表裏間(ひょうりかん)」と言います。その防衛線を突破した菌は、いよいよ胃腸の中に入ってきます(第3ステージ)。この時を病気が「裏」に侵入したと言います。主な症状は便秘です。その後、第4ステージからは免疫が弱り、負け戦となります。お腹が冷えてきて下痢の症状に変わりますが、やはり胃腸が戦場になります。最後の第6ステージでは心臓辺りで最後の戦いが始まります。病原菌に対して背水の陣で臨みます。

表面から始まり体内に病気が進んでいく事が、東洋医学の基本です。そして病気が潜んでいる場所(ステージ)を探し当て、その症状に合わせた漢方薬を調合できたら病気は風のように退散してしまうのです。しかしその治療はそう簡単なものではありません。病邪は表にいても、もう既にお腹に侵入していたり、中に逃げ込んでいるにも関わらずその症状が皮膚に出ていたり、見つける事は容易くないのです。

### 表と裏

皆さんこんにちは。

今年の暑さ大変でしたね。この新聞が発行されるころは涼しくなる事を祈ります。暑さは皮膚にダメージを与え、肺の機能を落とします。冬に風邪を引かない為にもこの秋の生活を規則正しくして行きましょう。

さて、今回は大学での講義を題材に、「表と裏」のお話をしていきます。よろしくお願い致します。

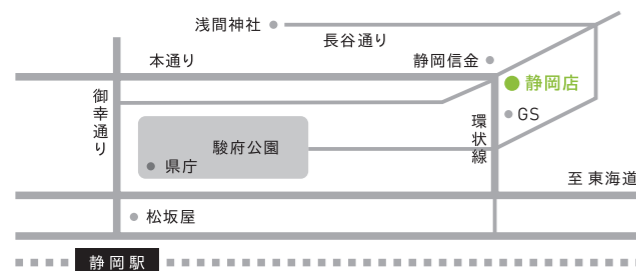
表は良いけれど、裏話とは何ともはや怪しげな話になりそうな…。心配しないでください、これはあくまで東洋医学の考え方ですから。東洋医学では、病気を治すため、患っている場所を大きく二つに分けて考えています。それが表と裏で、専門的には「ひょうり」と言っています。



静岡店(むつごろう薬局)  
所在地: 〒420-0865 静岡市葵区東草深町 22-1  
TEL: 054-(247)-6006  
FAX: 054-(247)-6007  
営業時間: 10:00~18:00 (18時以降は、要予約)  
定休日: 日曜日・祝日  
HP: <http://www.mutsugoro.co.jp>  
EMAIL: [info@mutsumi.co.jp](mailto:info@mutsumi.co.jp)



東京店(不妊治療専門薬局むつみ薬局)  
所在地: 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-8-17  
銀座理容会館ビル2F  
TEL・FAX: 03-(3563)-6238  
営業時間: 10:00~19:00 (予約制)  
営業日: 火曜日・土曜日  
HP: <http://www.ginzamutsumi.com>  
EMAIL: [info@ginzamutsumi.com](mailto:info@ginzamutsumi.com)





## 禍は福の倚る所、福は禍の伏す所なり

これは、有名な老子の言葉です。禍には福がよりそい、福には禍が潜んでいる。だが見極めが難しい。正しさは、いつも正しいとかぎらず、正は邪となり、善は悪となる。だから自分が正しくても人を裁断したり批判したりしない。まっすぐであっても曲げて人に従い、明知であっても人に誇らない。と言っています。大変納得が行く話です。また、ある有名なメンタリストが言っていたのですが、人は心の中に秘めた心情が、表情や行動に出て来るときがある。そこを見逃さないのだと。これもまた興味深い話ですね。最後に、アトピー性皮膚炎治療で有名な焼津の医師林先生のご著書を拝読させて頂くと、皮膚をよくするためには腸の環境をよくする事が大切に言いオリジナルの整腸剤を作られました。この3名の話の共通点は、「表面的に見えている事柄だけに捉われず、その奥にあるものを見る目を養う」事ではないでしょうか。

## 表と裏

閑話休題。医師小倉重成先生の潜証理論は、私の師匠の田畑隆一郎先生からの教えで知りました。運動不足、アイスクリームや甘いものなどの陰性食品の食べ過ぎ、冷房の使用、睡眠不足、過度のストレスなどにより新陳代謝が落ちてしまい、漢方薬があっても関わらず改善出来ない場合、体の新陳代謝をよくする漢方薬（裏に使う漢方薬）を午前中に使い、午後には症状を取り除く漢方薬（表に使う漢方薬）を使用することで、漢方の効きが明らかに違うと言うのです。まさに現代社会においては、必要な治療ではないでしょうか。私は孫弟子に当たるのですが、一度もお会いしていない小倉先生の偉大さを感じます。

## 漢方薬で良くなった例 「尋常性白斑」

30歳の男性。首から顔にかけて白斑が始まり半年前から両手の甲にも出来始めました。舌質は紫色で舌苔は微白苔。頬が赤く汗をかきやすい。寝汗も酷い。小便は1日7-8回。立ちくらみがあり、疲れやすい。唇口乾燥。胃弱で腹満、腹痛、腹冷あり。黄耆建中湯服用4ヶ月で疲れ、腹満などの症状は改善されるも白斑の変化は何もありません。

その後、仕事上のストレスがあり、蕁麻疹や精神面での不安感が強く出ていることから柴胡桂枝乾姜湯に変更しました。蕁麻疹、精神症状は改善されるものの白斑は変わらず。午前中2回新陳代謝をよくする漢方薬を服用していただき、午後ストレスを緩める漢方薬を2回服用していただく事4ヶ月、首から顎の場所に色素の点状の色素の島ができはじめ、日ごとに広がって来ました。その後3年で顔はほとんど目立たなくなりました。全体で4年間かかりました。

## 最後に

表と裏は対極的に見えますが、どこかで繋がっていると、東洋医学は考えています。病気でも表面的で症状が軽いものでも急激に悪くなったり、重症に見えた物でも簡単に治ってしまう事があります。又、体を冷やす食べ物の取り過ぎや、運動不足、睡眠不足は、病気を体の裏側へと隠してしまうと言われます。これからの季節、気温が下がり始め新陳代謝も悪くなり、気持ちも沈みやすくなります。

「10分ストレッチ、お砂糖グッと我慢」で頑張ってくださいませ。

## 1150

お盆休みに電車で4日間の旅行をしました。主な目的地は天橋立、鳥取砂丘、大山寺、出雲大社です。日本三景のうち行ったことのなかった天橋立に、やっと思って行くことができました。傘松公園の股のぞき台で、股のぞきもしてみました。コウノトリの郷公園がある兵庫県豊岡市に宿泊し、バスツアーなどでコースに入っている浦富海岸の島めぐり遊覧船に乗るために岩美駅に向かう途中、幸運なことに田んぼにコウノトリがいるのを見ることができました。遊覧船からはその後に行く鳥取砂丘も望めました。昨年1月の早朝、砂を接着剤で固める技術を開発した社長さんがテレビに出演していて、鳥取砂丘に行ったら絶対買うと決めていた鳥取砂丘モアイも買うことが

できました。出雲大社のご祭神は大国主大神です。因幡の白兔を助けたということで、あちらこちらにうさぎの石像があり、とてもかわいかったです。実は兔という字が入った「伏兔（ふくと）」というツボがあります。太ももが発達していると分かりやすいのですが、大腿四頭筋が盛り上がっているのが、まるで兔が伏せているようだとすることで名づけられたという説があります。上前腸骨棘（腰の骨のおなか側のてっぺり）と膝蓋骨外側上縁を結ぶ線上にあり、膝蓋骨外側上縁の上6寸（だいたい指8本の幅）のところでした。私は今まで特にこのツボを使って治療することがありませんでした。しかし、考えてみると、漢方相談している時に、隣のイスが空いていても荷物を置かず太ももにのせている方がいらっしやいます。そういう方に聞いてみると、太ももまで脚が冷えるとおっしゃる方が多いのです。膝かけを手放せないという方は、ここを温めてたり、押ししたりしてはいかがでしょうか。「伏兔」の主治は腰部・股関節痛、膝の冷え、下肢麻痺、脚気です。

どの写真にするか迷いましたが、みなさまにもいいご

## 「むつごろう健康五ヶ条」

- 一、人は自然界の一部であり、その調和で成り立つ。
- 一、心と身体は常に一体である。
- 一、なぜ病になったのか、その原因を考えること。
- 一、無理せず、無駄せず、継続すること。
- 一、真の健康とは、心と身体が調和し常に自然体である。

縁がありますようにご縁タクシーの写真です。出雲駅に止まっていました。ナンバーが1150(いいごえん)ですが、見えますでしょうか。



1150 (いいごえん)

## INFORMATION

### BSプレミアム「偉人たちの健康診断」出演

2018年8月8日(水)20時(再放送14日23時45分)から、薬剤師、鈴木がNHK・BSプレミアムの歴史番組「偉人たちの健康診断」に出演させていただきました。



## はこにわ薬草畑

畑の周りには、すすきが伸び始めています。秋の訪れです。畑は色々な変化があります。予想もつかない事が起るので、とても楽しいフィールドです。写真はなんだか分かりますか。答えは、牡丹の種です。種が入っている房は、大人の親指の太さもあります。こんなに大きな物を見たのは初めてです。これから冬に向かって畑は静かになります。来年のために再び漢方堆肥を蒔いて行きます。無農薬の良い薬草が育つ事を祈っています。



これなんですか？

